

# 図書館だより

## 8月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑰	20	21	22	23	24
25	⑳	27	28	29	⑳	31

○印 休館日  
月曜日、月末館内整理日(30日)

「夏休みにすすめたい本」の展示と貸し出しをしています。本の中には、その学年で読まなければ、一生読む機会をなくしてしまうものもあります。一年中で一番まとまった時間のとれるこの機会に、ぜひ、読書の喜びを味わってください。

### ◆ 今月の新刊図書のご案内

#### ● 一般図書

あいまい発想のすすめ 竹内 均  
百万都市江戸の生活 北原 進  
竜馬暗殺の謎を解く新人物往来社  
はじめて知るブータン山本けいこ  
アメリカン・ジャーナル  
ピート・ハミル  
世界の潮流・日本のうねり 岩国哲人  
舛添要一のこれが世界の読み方だ  
日本生活事情 アルク  
自衛隊がいざい学入門 原田 暁  
センス・オブ・ワンダー  
レイチェル・カーソン  
ナガサキは語りつぐ 長崎市編  
玲子さんのブランド・シック

#### ● 児童図書

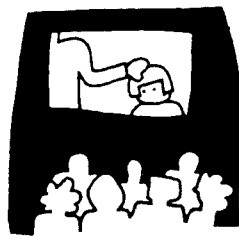
主権者はきみだ  
スーパードラゴンドカブトムシ  
赤毛のアンのおクックブック  
看護婦さん  
世界の名選手物語  
あした、またね!  
わかったさんのクレール  
ひげ先生と森の動物たち  
すんだことはすんだこと  
フランセスの青春  
LITTLE EYES 四一六  
だあいすき  
恐竜のなぞ  
わらしべ王子  
外六十冊

パスタ・ム・ザ・ワールド  
山の贈り物 山本容子  
ロバート・キャパ写真集  
だから私は嫌われるビートたけし  
霊能者として生まれて生きて 宜保愛子  
まだ見ぬ故郷上・下 長部日出雄  
ムイミダス 清水義範  
闇の天草四郎 中津文彦  
ため息の時間 連城三紀彦  
時の雫 木崎さと子  
草の径 松本清張  
室町お伽草子 山田風太郎  
愛している アン・ビティ  
晴れた空 上・下 半村 良  
絵双紙花魁妖 皆川博子  
聖城 北方謙三  
外一九四冊

## 第17回 「私のアイデア貯金箱」コンクール

応募資格 小学生・中学生  
応募作品 材料は自由で、大きさは、一辺の長さが25センチ以内とし、応募は一人一点に限ります。  
応募先 作品には氏名・学年を明記して、所属学校に出品してください。  
応募期間 7月15日(月)～9月6日(金)

## 「夏休み親子映画会」を開催します



日時 8月9日(金) 午後1時30分～3時30分  
場所 文化会館4階大ホール  
内容 三年寝太郎  
キューリー夫人  
ヒロシマのうた  
対象者 幼児・小学生と家族の方  
料金 無料  
問合先 市立図書館  
☎(43)1321内線40

## 子どもの心コース(26)

### 思春期 非行

#### 暴走行為

このごろの一部の子は、一年中暴走行為をしているということですが。特にこれからの夏の期間は暴走行為をする子が多いといわれています。集団で騒音をたてて、走りまわることを楽しんでいるのです。他人の迷惑など考えないで、むしろ他人に迷惑をかけることを楽しんでいるようにさえ見えるのです。

暴走行為をする子は十七・八歳から二十歳位までです。高校生もいますし、有職少年もいます。時には、無免許の中学生もいるのです。高校生の場合には勉強についていけなくて退学する場合もあります。有職少年で暴走行為をする子は、仕事に魅力があつて働くのではなくて、お金が欲しくて働いているので、たびたび仕事をかえる子もいます。

暴走行為をしている子の多くは、学校では余り目立たない子で、勉強嫌いでおとなしいが、強い劣等感をもっているように思えます。このような子を持つ多くの親は、勉強しないことを責められています。そのために家庭でも学校でも潜在的に不満を持つようになります。子どもというものは、親や教師から認められることによって情緒が安定するのです。学校の成績だけを基準にして叱ることを考える親の子は不安定になり不満を持つようになります。

よいようになります。成績以外の子どもによつて、子どもは、自分というものを発見し情緒が安定し、目標を持った、生活をするようになります。暴走しようという心が抑えられるといえます。

十六歳になると、バイクの免許が取得でき、十八歳になると普通免許が取得できます。この年齢になると、免許がほしくなり、お金が必要になります。さらに自動車も買いたくなります。そうなる子、子どもは親にねだり、時には、親をおどし免許と、車を手に入れようといふのです。この子どもの要求に負ける親は問題があるといえます。

子どもは幼いときは、口やかましく育てると、自発性の発達が抑えられ、おとなしく良い子に育つたように見えます。しかし、人間関係の調整がへたで友達も少ないのです。そのうえ勉強ができなくて叱つてばかりいると、劣等感を持つようになります。そういう子どもがバイクや自動車を持つようになりますと、それに喜びを感じるようになります。スピード感で不満や劣等感を解消しようといふのです。刹那的な快楽に浸り暴走することが何ともいえない楽しみとなります。このようになりますと、親が事故のことで警察の取締のことを心配しても全然気がかけないようになります。これだけ親が心配していると思つても、全然気にしない子になってしまふのです。

教育相談室

☎(43)1111 内線216